

# 都中英研だより

## 第 65 号

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 重 松 靖  
(国分寺市立第三中学校長)

### グローバル人材の育成

～英語教育のさらなる充実を通して～

東京都中学校英語教育研究会  
会 長 重 松 靖

4年間会長を務められた井田宗宏前会長の後任として東京都中学校英語教育研究会（以後中英研）の会長という重責を担うことになりました。学級経営と部活動指導に燃え、教科指導は二の次であった20代の私に、英語科教員としての自覚に目覚めさせてくれたのが中英研の先生方との出会いでした。以後約25年間、中英研を通して実に多くのことを学ばせていただきました。中英研に育てられたと言っても過言ではありません。まだまだ力不足ではありますが少しでも恩返しができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度学習指導要領が全面実施されました。今回の改訂は、知識基盤社会やグローバル化が進む社会において「生きる力」をはぐくむことが益々重要になってきた、ということから改訂されました。小学校外国語活動の必修化、中学校での英語の授業時数増加等、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性が益々高くなってきている今日、英語教育に対する期待はこれまでになく高くなっています。

ところで、グローバル化した社会で活躍できる人材に必要とされる要素とは何でしょうか。「グローバル人材育成戦略－グローバル人材推進会議 審議まとめ」（平成24年6月4日）は、次のようにまとめています。

- 要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力
- 要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、  
協調性・柔軟性、責任感・使命感
- 要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としての  
アイデンティティ

私たちは英会話学校の教師ではありません。未来を担う大切な宝を育てるといった大きな責務を負っています。要素Ⅰだけでなく、すべての

教育活動において、要素Ⅱ、要素Ⅲの力をはぐくんでいかなければなりません。

英語の授業では、教師の後について繰り返すだけの文型練習や音読だけでなく、生徒が「主体的」に考え、「積極的」に自分の考えや自分自身のことを表現する言語活動を盛り込んで行かなければなりません。生徒の興味・関心を喚起し、間違いを恐れず、一段上のレベルの英語に果敢に「チャレンジ」させる指導法や教材の工夫もしなくてはなりません。世界には多種多様な文化が存在し、お互いに尊重し合いながら共生していくことが何より大切であることに気づかせるとともに、日本を愛し、日本の文化を世界の人々に堂々と語ることができる日本人を育てることもしなくてはなりません。要素Ⅰ～要素Ⅲを英語の指導計画の中に繰り返し盛り込んでいかななくてはならないのです。

言い尽くされてきた言葉ではありますが、「教育は人なり」と言われます。私たち英語科教員の指導力向上が、生徒達の英語力を向上させ、グローバル人材として素養を豊かなものにするのです。

中英研では、今年の夏も多くのワークショップを計画しています。秋以降、事業部の授業力アップ研修会、英語学芸大会、研究部の研究大会等も実施されます。積極的に参加していただき、指導力向上と英語科の先生方のネットワークを構築していただきたいと思ひます。

東京都の英語科教員の約4人に1人が若手教員という時代になりました。そこで、これまでのホームページに加え、Facebook を使って情報を発信するとともに、各地区の取組等も共有したいと思います。ご活用ください。



# 平成25年度都中英研総会



平成25年度の都中英研総会が、5月10日（金）に、豊島区立千登世橋中学校にて開催されました。今回の役員選出において、4年間会長を務められました井田宗宏前会長より重松靖新会長へと交代があり、それに引き続き、新役員についても別掲の通り承認されました。その後、平成25年度の事業計画や予算についても了承されました。

総会后、記念講演がありました。今年度は、玉川大学教授 高橋貞雄先生より「中学校英語の課題と展望」という演題で、英語教育における多様で多岐にわたる課題を整理していただき、また、それら課題に対してのご助言を賜ることができました。先生から「中学校英語のエッセンスを見極め、それに責任を果たしたい。」という熱いメッセージを受け取り、あらためまして私たち英語科教員の責任を痛感いたしました。



## 役員一覧／組織票〈平成25年〉

役職	氏名	所属校	職位
会長	重松 靖	国分寺市立第三中学校	校長
副会長	飯島 光正	豊島区立千登世橋中学校	校長
//	牛島 順子	目黒区立第四中学校	校長
//	阿字 宏康	荒川区立第一中学校	校長
//	石鍋 浩	足立区立蒲原中学校	校長
//	松岡 敬明	武蔵野市立第一中学校	校長
//	惣田 修一	足立区立洲江中学校	校長
//	福井 正仁	港区立青山中学校	校長
//	松永 透	三鷹市立連雀学園第一中学校	校長
//	和田 文宏	大田区立蒲田中学校	校長
//	井田 宗宏	練馬区立豊玉中学校	校長
総務部長	飯島 光正	豊島区立千登世橋中学校	校長
経理部長	佐藤 恭子	世田谷区立尾山台中学校	校長
調査部長	五十嵐 浩子	小平市立小平第一中学校	校長
事業部長	横山 達也	八王子市立第七中学校	教諭
研究部長	北原 延晃	港区立赤坂中学校	教諭
出版部長	池田 武男	杉並区立井草中学校	校長
P T部長	斉藤 節子	清瀬市立清瀬第二中学校	副校長
会計監査	稲葉 秀哉	板橋区立赤塚第二中学校	校長
//	田谷 至克	墨田区立寺島中学校	校長
//	岩崎 紀美子	八王子市立別所中学校	副校長

## ▼▲▼▲ 研究大会・協議会 ▲▼▲▼

### 全英連中学校部会 7月25日(木)

講 師：筑波大学人文社会科学部 教授 卯城 祐司先生  
演 題：「学習指導要領を踏まえたコミュニケーション能力の育成」  
会 場：北とびあ

### 地区英語教育研究部長・幹事会 8月22日(木)

講 師：千代田区立九段中等教育学校 主任教諭 田口 徹先生  
講 演：「CANDOリストについて」  
会 場：豊島区立千登世橋中学校

### 全英連東京大会 11月16日(土)～17日(日)

会 場：第1日目 大田区民ホール・アプリコ  
第2日目 東京工科大学・蒲田キャンパス  
大会コンセプト：「世界で活躍できる日本人を育成する英語教育」

### 関プロ群馬大会 11月15日(金)

会 場：前橋市民文化会館、他  
テーマ：「基礎・基本を身に付け、伝えたい事柄を英語で豊かに『発信』する生徒の育成」

## ▼▲▼▲ 平成25年度 中英研年間事業計画 ▲▼▲▼

都中英研では7つの部があります。今年度の各部の主な事業計画は以下の通りです。

### 総務部

定期総会の運営(5月10日)  
全英連中学校部会の運営補助(6月～7月)  
都中英研各地区部長・幹事会の開催(8月)  
関プロ群馬大会に関する事務  
各部事業への運営補助

### 研究部

辞書指導についての研究  
夏の語い指導ワークショップの開催  
第1回(7月30日)世田谷区立三宿中学校  
第2回(8月7日)  
千代田区立九段中等教育学校  
第3回(8月23日)品川区立荏原第六中学校  
公開授業及び研究発表会の開催(2月24日)

### 事業部

定期総会の運営(5月10日)  
サマーワークショップの開催(8月20日)  
千代田区立九段中等教育学校  
授業力アップ研修会の開催(10月)  
本年度は市部開催  
英語学芸大会の開催(12月1日)  
豊島区立千登世橋中学校

### 出版部

「都中英研だより」第65号発行(7月)  
「都中英研だより」第66号発行(12月)  
「都中英研会報」第73号発行(3月)  
都ホームページの更新補助

### 調査部

コミュニケーションテストの作成・実施・処理・分析・等(後述参照)  
ワークショップ(8月2日)  
千代田区立九段中等教育学校

### プロジェクトチーム部

研修会の開催(8月9日)  
清瀬市生涯学習センター「アミュー」  
研修・講演会の開催(2月)

### 経理部

都中英研事業に係る会計事務

## 中英研コミュニケーションテストについてのお知らせ

調査部の継続事業であるコミュニケーションテストがリニューアルしています。

今年度から4～5月実施になりました。「新コミュニケーションテスト」は、共通の既習事項を言語材料とするため、前年度に学習したことを調査対象としました。すなわち2学年は1学年の、3学年は2学年の学習内容が身に付いているかを測定します。もちろん学習指導要領対応という点も考えています。さらに、今年度から小学校外国語活動を対象とする第1学年用のテストも作成しました。リスニングテストと英語学習意識調査のみで構成しています。

平成25年度調査はすでに終了しております。ぜひ、次年度の実施をご検討ください。

### 都中英研ホームページ

検索

都中英研の動向、情報をお知らせしております。本誌「都中英研だより」については、都内各校に送付される前に、いち早く閲覧が可能です。また現在、経費節減のため「都中英研だより」および都中英研の年報である「中英研会報」の配布については、都内各中学校2部と限定しておりますが、東京都ばかりか全国の全ての英語科教員に対して、都中英研の活動の様子を公開しております。その上、「都中英研だより」「中英研会報」のいずれも、近年のバックナンバーを揃えております。ぜひとも、下記URLにアクセスしてください。

<http://www.chuueiken-tokyo.org>

### Facebook 開始

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）では著名なFacebookを、都中英研でも利用することになりました。研修会等の最新のお知らせを提供できるばかりか、投稿が可能なので、利用者との相互のコミュニケーションも取ることができます。ご関心のある方は、アカウントを取得して、下記URLもしくは右記QRコードからアクセスしてみてください。

URL <https://www.facebook.com/tokyo.chueike>

\*Facebookはフェイスブック株式会社の登録商標です。



### 編集後記

「都中英研だより 第65号」をお送りいたします。この「だより」は年2回（夏と秋）発行しております。その他に、都中英研の活動を記録した年報として、「中英研会報」を年度末に発行しております。特に「中英研会報」では、都内全地区英語教育研究部からの年間活動報告を頂いております。東京都の公立中学校における英語教育の動向を知る場となっているものと自負するものであります。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本誌に関するお問い合わせ先：都中英研出版部長 池田 武 男（杉並区立井草中学校長）

TEL 03-3390-3144 FAX 03-3390-5571